令和8年度富山県厚生部門功労表彰　被表彰者

（１）公衆衛生事業部門（個人３名）

（五十音順）

氏　名 （住　所）	年齢	功績分野	功績概要
いなば　けいこ 稲場　景子 （富山市）	64	母子保健	永年にわたり、富山市上滝地区の子育て支援や健康づくりに貢献し、富山市保健推進員連絡協議会においては、会長を務め、組織強化や会員育成に尽力している。富山県母子保健推進員連絡協議会においては、会長、副会長を務め、活動内容の充実を図るなど、会の発展に貢献している。
すがの　ひろみ 菅野　宏美 （黒部市）	72	食生活改善	永年にわたり、食生活改善推進員として、地域の婦人会や老人会等を対象に食生活改善のための普及啓発活動を実施した。平成18年の宇奈月町食生活改善推進協議会との合併時より、市協議会副会長として、平成28年からは会長として市食生活改善推進協議会の発展に尽力している。
たきだ　まさき 滝田　正樹 （富山市）	68	公衆衛生	呼吸理学療法の第一人者として、県呼吸ケア研究会世話役や北陸呼吸ケア研究会世話役を歴任し、地域の呼吸理学療法の発展に尽力している。また、呼吸理学療法の普及啓発を目的に、数多くの研修会を企画運営し、臨床現場に直結する知識・技術の普及に貢献している。

（２）社会福祉事業等部門（個人７名）

（五十音順）

氏　名 （住　所）	年齢	功績分野	功績概要
いいの　せいいち 飯野　誠一 （高岡市）	66	社会福祉	永年にわたり、誠実に介護、相談員業務にあたり、責任感もあり、安心して業務を任せることができる。真摯な姿勢で利用者に接し、利用者からの信頼も厚い。副主任、主任と役職にも長い期間就き、後輩への指導、育成にも尽力している。
かなざわ　たえみ 金澤　妙美 （入善町）	69	社会福祉	永年にわたり、看護職として、通所・施設介護サービス利用者の安全・安心な支援に誠意をもって対応した。また、法人の人材育成、経営にも積極的に貢献している。
くろだ しょういち 黒田　正一 （立山町）	70	社会福祉	介護支援専門員として長年勤務する傍ら、富山県介護支援専門員協会役員として会の発足時より活動し、会長からの絶大なる信頼を得て、富山県介護支援専門員の資質の向上、処遇の改善に積極的に取り組んでいる。また、協会の独自研修の実施を通じて、介護支援専門員の養成にも大きく寄与された。
はやせ　み 早勢　ます美 （魚津市）	66	社会福祉	看護師兼機能訓練指導員として利用者に寄り添った支援に努めるとともに、送迎や入浴介助など幅広い業務を担い、利用者や職員から厚い信頼を得ている。ショートステイ勤務時には、利用者が日々入れ替わる環境の中でも常に誠実に業務に取り組み、オンコール対応においても迅速に現場対応を行うなど、大きく貢献している。
まつだ　のりこ 松田　能理子 （富山市）	71	社会福祉	永年にわたり介護事業部門において地域の利用者支援に誠実かつ熱意を持って取り組み、利用者や職員からの信頼も厚い。サービス提供責任者及びデイサービス主任として後進のホームヘルパーの指導・育成にも尽力し、介護サービスの向上に大きく貢献している。
みやた　まみこ 宮田　眞美子 （富山市）	75	社会福祉	永年にわたり、高齢者介護の現場で誠実かつ献身的な姿勢を貫き、日々の業務においては、利用者一人ひとりの尊厳を大切にし、身体的ケアのみならず精神的な支えとなる温かな関わりを実践している。豊富な経験と知識を活かし、リーダーとして同僚職員への指導･育成に尽力し職場全体のｻｰﾋﾞｽの向上に寄与している。
やまみち　かつみ 山道　克美 （南砺市）	61	社会福祉	永年にわたり社会福祉事業の発展に貢献するとともに、介護職員及び介護支援専門員の育成・指導に尽力してきた。また、法人内居宅介護支援事業所の統合に向けた会議を主導し、事業所再編や業務効率化に取り組んでいる。さらに、利用者の意向を尊重しながら関係者との連携を図り、安心して利用できる支援体制の構築に尽力している。

令和８年度内閣府社会参加章　被表彰者

社会参加活動事例（団体２）

団体名 （所在地）	活動内容
café いっぷく庵（あん）、 こども食堂（しょくどう）キッズ サロンNANAMI（なな み） （射水市）	平成28年からコミュニティセンターを拠点として「住民型デイサロンの運営を行ってきたグループで、令和3年からは常設型のコミュニティカフェ「Café　いっぷく庵」を開設し、きららか射水100歳体操や高齢者学級等、子どもから高齢者、障がいのある方など誰でも気軽に立ち寄れる居場所づくりを目指して活動を続けている。また、毎月1回、地域の親子を対象とした「こども食堂キッズサロンNANAMI」を開催し、多世代交流にも取り組んでいる。居場所には認知症や障がいのある方の見守り・声かけを行う相談員やスタッフが配置されており、相談者の困りごとを聴き必要に応じて適切な支援を行うなど、地域が主体となって支え合う地域づくりを担っている。
ふきのとうの会（かい） （氷見市）	高齢化率50％超で一人暮らし高齢者も増える中、婦人会に代わる女性の活動の場として発足したグループで、月1回の地域食堂「なだうら食堂」でカレーを提供（中学生以下無料・大人300円）し、子どもから高齢者まで集える拠点をつくっている。年5回ほど弁当を安価に配達し、祭り・左義長では豚汁やどんどん焼きで賑わいを創出したり、コロナ禍にはマスク等を配布し、見守りと賑わいづくりを継続している。